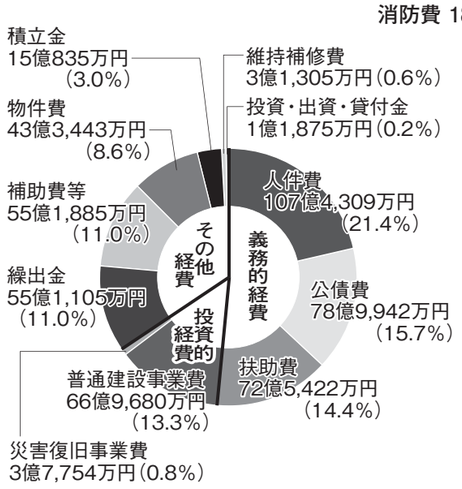
平成19年度 決算報告

平成19年度の決算が、平成20年第６回市議会定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金や、国や県からの補助金がどのように使われたのかを知っていただくため、その概要についてお知らせします（※金額は万円未満を四捨五入）。
※詳しいことは、本庁・財政課財政係☎㉓1111内線1362へ。

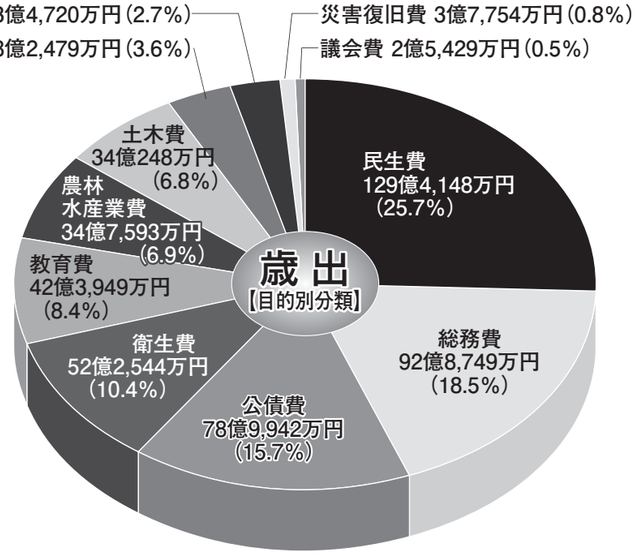
普通会計

※普通会計…全国共通のルールでつくられた会計区分。一般会計と特別会計の一部（本市の場合は歯科診療所・斎場事業）を合算したもの。

歳出総額 502億7,555万円



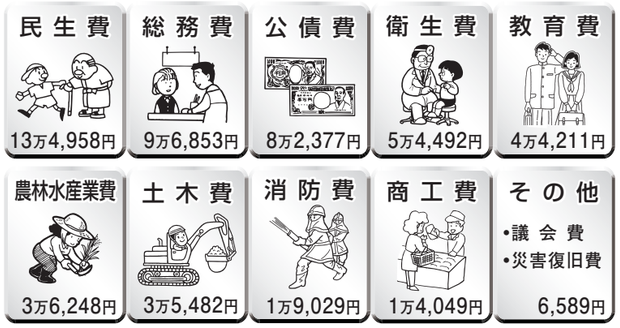
【性質別分類】



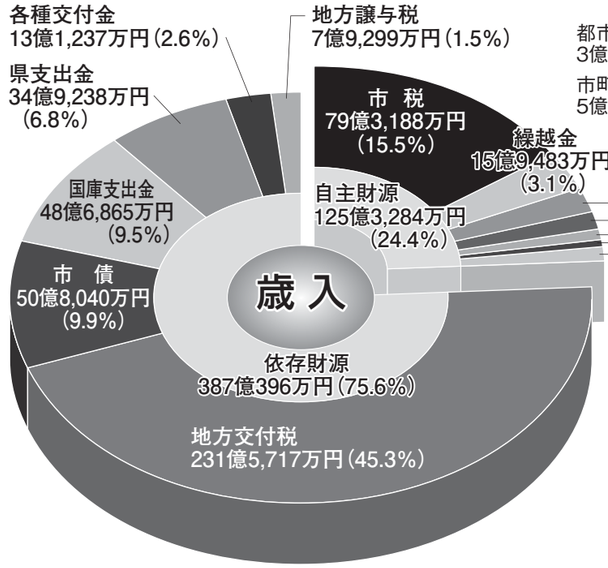
歳出を市民１人当たりにすると

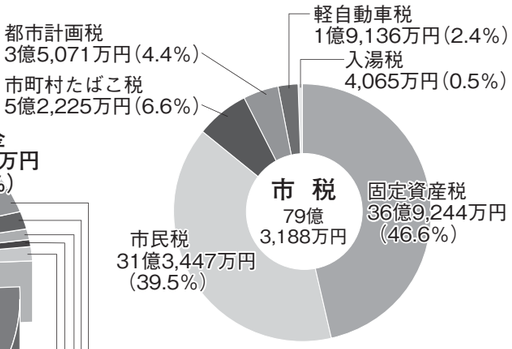
52万4,288円

普通会計の歳出を市民１人当たりに換算すると52万4,288円使ったことになります（平成20年3月31日現在の住民基本台帳９万5,893人で計算）。市税の収入は市民１人当たり８万2,716円ですから、不足する44万1,572円は地方交付税や国庫支出金、県支出金などで補っていることになります。



歳入総額 512億3,680万円





使用料・手数料　8億9,409万円(1.7%)
繰　入　金　7億　565万円(1.4%)
分担金・負担金　5億3,153万円(1.0%)
財 産 収 入　2億2,995万円(0.4%)
そ　の　他　6億4,491万円(1.3%)

基金現在高	112億　93万円
借入金現在高	627億2,275万円

歳入の約75%が依存財源

平成19年度普通会計の歳入の決算額は、５１２億３、６８０万円となりました。財源別に見ると、市税などの自主財源は１２５億３、２８４万円（２４・４％）。一方、地方交付税や国・県支出金などの依存財源は３８７億３９６万円で、全体の７５・６％を占めています。

今後、増大する行政需要に対応するためには、歳入の確保を図り、財政の健全化を進めていかなければなりません。

歳出のトップは民生費

普通会計の歳出の決算額は、５０２億７、５５５万円となりました。目的別で見ると、一番多く使われたのは民生費で１２９億４、１４８万円（２５・７％）。続いて総務費、公債費、衛生費、教育費、農林水産業費の順となっています。性質別では、人件費や扶助費などの義務的経費が全体の約半数を占め、２５８億９、６７３万円（５１・５％）となっています。

なお、歳出の詳細については14ページに掲載しています。

用語の説明

【歳入】

▼**自主財源**…市税や負担金などで、市が自主的に収入して得るもの。

▼**依存財源**…地方交付税、国・県支出金、市債など。

▼**使用料・手数料**…市の施設を使ったり、住民票の交付を受けたりしたときの料金。

▼**分担金・負担金**…福祉サービス（老人ホームや保育所入所）など特定の利益を受けた人から徴収したお金。

▼**地方交付税**…所得税など、国が徴収した税金の中から、市の行政規模に応じて交付されたお金。

▼**市債**…国や県、金融機関から借り入れたお金。

▼**国庫支出金、県支出金**…公共事業など特定の目的の財源として、国・県から交付されたお金。

▽**公債費**…借り入れたお金を返済するために支払ったお金。

【歳出】

▽**民生費**…福祉全般の事務、事業に使ったお金。

▽**総務費**…住民票発行事務や課税徴収、交通安全対策・選挙事務、庁舎管理などに使ったお金。

▽**衛生費**…保健事業やゴミ処理など、安全で衛生的な生活のために使ったお金。

▽**教育費**…幼稚園や小・中学校の管理、公民館や図書館などの事業や体育振興に使ったお金。

▽**農林水産業費**…農林業、水産業などの振興のために使ったお金。

▽**土木費**…道路や公園の整備、市営住宅の管理などに使ったお金。

▽**消防費**…消防、防災施設の設置、消防組合への負担金や消防団活動などに使ったお金。

▽**商工費**…商工業および観光の振興に使ったお金。

▽**人件費**…市議会議員や市職員などの報酬や給与。

▽**扶助費**…障がい者や高齢者、生活困窮者などの福祉向上のために使ったお金。

▽**普通建設事業費**…道路や公園などの施設の整備などに使ったお金。

▽**繰出金**…下水道や国民健康保険などの特別会計に支出したお金。

▽**補助費等**…外部団体などの運営補助などに支払ったお金。

▽**物件費**…旅費、委託料、物品の購入などに使ったお金。